

# 平成28年度 事務事業評価表〈平成29年度 評価実施〉

千歳市

◎基本情報

		事業番号	503102		
事業名	民有林整備事業		事業期間	H12～終期なし	
			事業の種類	自主事業	
第6期総合計画への位置付け	まちづくりの基本目標		展開方針		施策
	活力ある産業拠点のまち		林業の振興	森林の整備と保全	
実施根拠	実施の根拠法令・条例等の名称	規則・要綱等	森林法、未来につなぐ森づくり		
事業担当	産業振興部農村整備課耕地林務係		連絡先	e-mail <a href="mailto:nosonseibi@city.chitose.lg.jp">nosonseibi@city.chitose.lg.jp</a>	
			電話番号	(総合代表) 0123-24-3131	内線 516
評価者	農村整備課長 但馬 信郎		(直通番号) 0123-24-0642		

◎事業概要(PLAN)

事業目的	<対象> 誰(何)を対象にしているか	市内民有林	細事業 森林整備計画対策事業 未来につなぐ森づくり推進事業 森林整備地域活動支援事業
	<意図> 対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	公益的機能の保全を図る	
事業内容	目的を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	適正な森林施業の推進と無秩序な森林伐採などの開発を防止し、市内の民有林を整備・育成・保護するため、森林事業者などに対し、造林経費の一部を補助する。	

◎実施結果(DO)

平成29年度は見込値

指標名		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	
活動指標	↓ 活動単位当たりのコスト算出指標(1つ選択)						
	○ 1 未来につなぐ森づくり推進事業補助金交付額(旧21世紀北の森づくり推進事業)	実績 816	742	1,124	1,441	千円	
	2 森林整備地域活動支援事業補助金交付額	実績 0	0	0	0	千円	
実施した事業の活動量を示す指標	3 伐採届け受理件数	実績 14	10	20	20	回	
成果指標	本来の指標	森林面積	目標 13.0	15.0	16.0	17.0	ヘクタール
	○ 代替指標	新植・間伐面積					
	計算式		実績 5.6	5.7	15.5		
	指標の説明	目標達成率(実績/目標)	43.1	38.0	96.9	%	

予算事業名称	コスト分析		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位
民有林整備事業費	事業費 予算	(A)	1,073	1,000	1,657	1,701	千円
	事業費 決算 (C+D+E)	(B)	1,049	999	1,283		
	財源内訳	国道支出金 (C)	529	456	692		
		その他 (D)	0	0	0		
		一般財源 (E)	520	543	591		
	人件費	(F)	5,414	5,488	5,063		
	職員数(関与割合)	(G)	0.74	0.74	0.68	人	
	総事業費	(B+F)	6,463	6,487	6,346		千円
	人件費率	(F/H)	83.8	84.6	79.8		%
	活動単位当たりのコスト (H/活動実績)	(J)	7.9	8.7	5.6		千円

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の必要性	市民ニーズの動向	I 社会情勢の変化により、市民ニーズが増加傾向にあるもの II 市民ニーズの動向や利用者の需要に大きな変化がないもの III 社会情勢の変化により、市民ニーズが減少傾向にあるもの IV 市内部組織を対象とするなど、市民ニーズとは直接関連しないもの	II
	事務事業の性質	I 市が保障する市民生活の最低水準に関わる事業 II 市民の生命・財産・権利を守るために必要な事業 III 市民生活を豊かにするために実施する特色ある事業 IV 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	II
市の関与の妥当性	事務事業の実施主体	I 法令等の定めにより、市が実施主体となる事業 II 法令等の定めはないが、公共性や公益性の観点から市が実施主体となる事業 III 企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を行う事業 IV 企業や市民団体等による実施が妥当な事業	III
	対象者の範囲	I 大多数の市民に提供され、市民生活に必要不可欠なもの II 大多数の市民に提供されるが、選択可能なもの III 特定の個人又は集団に提供され、市民生活に必要不可欠なもの IV 特定の個人又は集団に提供されるが、選択可能なもの V 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	III
経済性	実施方法の変更などにより事業費の削減が図られているか(総事業費)	A 事業費は削減傾向にある B 事業費に大きな変動はない C 事業費は増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
効率性	作業手順の見直しにより、業務改善が図られているか(活動単位当たりのコスト)	A コストは削減傾向にある B コストに大きな変動はない C コストは増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
有効性	事業目的を達成できているか(目標達成率)	A 95%以上達成できている B 70から95%達成できている C 70%未満の達成率である D 目標達成率が算出できない	A
〇評点の場合、その理由・原因			
手段の妥当性	事業目的を達成するために実施している細事業について、類似事業はないか	A 類似事業はない又は人件費事業である B 類似事業を含むが、統合・移管するには十分検証する必要がある C 類似事業を含み、部分的に統合・移管が可能である D 統合・移管すべき事業を含む	A
前年の二次評価コメント	市内における適正な森林施業の推進と無秩序な森林伐採防止のため、本事業の実施は必要であることから、今後の方向性及びその内容について承認する。 なお、成果指標については、事業内容に基づく指標を検討する必要がある。	改善内容 → 「成果指標の検討」 H26,27の実績は、間伐事業が無く目標達成率は低いが、H28では新植以外の間伐があり、前年度より実績増となり目標値をほぼ達成している。また、今後も市内で計画的に間伐が実施される予定であり、実績値も上昇傾向にあり、目標値を達成することが想定される。このことから、本指標が事業実態に基づいていること、目的達成のために妥当な指標と判断することから、今後も引き続き使用する。	

◎今後の方向性(ACTION)

総合評価現状と課題	森林施業の推進のため、国・北海道・千歳市による補助金を林業者に交付することと、無秩序な森林伐採などを防止するため民有林の伐採や、新たに森林を所有した際の届け出を受理する等の業務を行っており、森林の保全に有効に機能する事務であり、民有林整備のためには今後も継続して実施していく必要がある。			
今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
↓「現状のまま継続」の場合は、本事業により得られる事業効果を以下の欄に記入してください。				
事業効果	民有林整備の推進は、森林の持つ公益的機能(国土の保全、水源かん養及び生活環境の保全)の維持と森林資源の循環利用が図られる。			
↓「見直して継続」・「休止・廃止」の場合は以下の欄に記入してください。				
今後の改善案等	実施予定時期	改善の対象となる項目(細事業等)		
	・どのように改善するのか ・改善する理由は何か ・休止・廃止する理由は何か			

◎二次評価

今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
二次評価コメント	※この欄は、評価委員会による二次評価欄なので、担当課では記載しないでください。			

◎関連

実施計画	
重点施策	
市長公約	

# 平成28年度 事務事業評価表〈平成29年度 評価実施〉

千歳市

◎基本情報

				事業番号	503103	
事業名	森林整備普及啓発事業			事業期間	不明～終期なし	
				事業の種類	自主事業	
第6期総合計画への位置付け	まちづくりの基本目標		展開方針		施策	
	活力ある産業拠点のまち		林業の振興		森林の整備と保全	
実施根拠	実施の根拠法令・条例等の名称	その他				
事業担当	産業振興部農村整備課耕地林務係			連絡先	e-mail	<a href="mailto:nosonseibi@city.chitose.lg.jp">nosonseibi@city.chitose.lg.jp</a>
				電話番号	(総合代表) 0123-24-3131	内線
評価者	農村整備課長 但馬 信郎			(直通番号) 0123-24-0642		

◎事業概要(PLAN)

事業目的	<対象> 誰(何)を対象にしているか	市内森林	細事業 林野火災予消防対策事業 千歳市森林組合指導助成事業
	<意図> 対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	育成・保護する	
事業内容	目的を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか		民有林の保全を図るため、森林の整備と保護を担っている千歳市森林組合及び千歳市森林愛護組合の活動に対し、補助金を交付する。

◎実施結果(DO)

平成29年度は見込値

指標名				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位
活動指標	↓ 活動単位当たりのコスト算出指標(1つ選択)			実績	1,900	1,900	1,900	1,900
	実施した事業の活動量を示す指標	○ 1	千歳市森林組合指導助成事業補助金交付額					
2		林野火災予消防対策事業の会議開催数		実績	1	1	1	回
3				実績				
成果指標 対象にどのような効果があったか 示す指標	○ 本来の指標	巡回・普及啓発回数		目標	1,962	1,941	1,941	千円
		巡回・普及啓発に要した費用		実績	1,962	1,941	1,941	
	○ 代替指標			実績	1,962	1,941	1,941	
	計算式 指標の説明		目標達成率(実績/目標)			100.0	100.0	100.0

予算事業名称	コスト分析			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	
森林整備普及啓発事業費	事業費 予算		(A)	1,962	1,941	1,941	1,941	千円	
	事業費 決算 (C+D+E)		(B)	1,962	1,941	1,941			
	財源内訳	国道支出金		(C)	0	0	0		
		その他		(D)	0	0	0		
		一般財源		(E)	1,962	1,941	1,941		
	人件費		(F)	760	771	813			
	職員数(関与割合)		(G)	0.10	0.10	0.11	人		
	総事業費		(B+F)	(H)	2,722	2,712	2,754		千円
	人件費率		(F/H)	(I)	27.9	28.4	29.5		%
	活動単位当たりのコスト (H/活動実績)		(J)		1.4	1.4	1.4		千円

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の必要性	市民ニーズの動向	I 社会情勢の変化により、市民ニーズが増加傾向にあるもの II 市民ニーズの動向や利用者の需要に大きな変化がないもの III 社会情勢の変化により、市民ニーズが減少傾向にあるもの IV 市内部組織を対象とするなど、市民ニーズとは直接関連しないもの	II
	事務事業の性質	I 市が保障する市民生活の最低水準に関わる事業 II 市民の生命・財産・権利を守るために必要な事業 III 市民生活を豊かにするために実施する特色ある事業 IV 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	II
市の関与の妥当性	事務事業の実施主体	I 法令等の定めにより、市が実施主体となる事業 II 法令等の定めはないが、公共性や公益性の観点から市が実施主体となる事業 III 企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を行う事業 IV 企業や市民団体等による実施が妥当な事業	II
	対象者の範囲	I 大多数の市民に提供され、市民生活に必要不可欠なもの II 大多数の市民に提供されるが、選択可能なもの III 特定の個人又は集団に提供され、市民生活に必要不可欠なもの IV 特定の個人又は集団に提供されるが、選択可能なもの V 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	III
経済性	実施方法の変更などにより事業費の削減が図られているか(総事業費)	A 事業費は削減傾向にある B 事業費に大きな変動はない C 事業費は増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
効率性	作業手順の見直しにより、業務改善が図られているか(活動単位当たりのコスト)	A コストは削減傾向にある B コストに大きな変動はない C コストは増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
有効性	事業目的を達成できているか(目標達成率)	A 95%以上達成できている B 70から95%達成できている C 70%未満の達成率である D 目標達成率が算出できない	A
C評点の場合、その理由・原因			
手段の妥当性	事業目的を達成するために実施している細事業について、類似事業はないか	A 類似事業はない又は人件費事業である B 類似事業を含むが、統合・移管するには十分検証する必要がある C 類似事業を含み、部分的に統合・移管が可能である D 統合・移管すべき事業を含む	A
前年の二次評価コメント		改善内容 →	

◎今後の方向性(ACTION)

総合評価現状と課題	森林組合や森林愛護組合と連携し、森林の育成、保護及び林野火災に対する啓発活動を実施しており、公益性と必要性が高い事業である。しかしながら森林愛護組合について高齢化が進んでいることから愛護組合以外の団体との連携も検討し、活動の維持、強化を図っていく必要がある。			
今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
	1			
↓「現状のまま継続」の場合は、本事業により得られる事業効果を以下の欄に記入してください。				
事業効果	森林関係団体と連携した森林管理に係る活動を推進することにより、健全な森林の保護・育成が図られる。			
↓「見直して継続」「休止・廃止」の場合は以下の欄に記入してください。				
今後の改善案等	実施予定時期	改善の対象となる項目(細事業等)		
	・どのように改善するのか ・改善する理由は何か ・休止・廃止する理由は何か			

◎二次評価

今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
二次評価コメント	※この欄は、評価委員会による二次評価欄なので、担当課では記載しないでください。			

◎関連

実施計画	
重点施策	
市長公約	